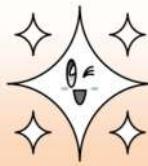


進路だより



秋田県立秋田きらり支援学校
第6号
平成29年11月24日発行

PTA事業所見学が行われました

10月20日、秋田ワークセンターを13名の保護者が見学しました。また、11月6日と13日には、生活介護事業所よつ葉を2日間で延べ22名の保護者が見学しました。



秋田ワークセンター

秋田ワークセンターでは、施設入所支援、生活介護支援、就労継続支援A型・B型、就労移行支援のサービスを提供しています。それぞれのサービス内容や施設設備、送迎の範囲など、資料をもとに詳しく説明していただきました。また、保護者からは、食事の形態などについて質問が出ました。

就労継続支援A型・B型、就労移行支援



第1作業棟です。主に印刷やパソコンでの作業を行っています。

第2作業棟では、縫製や軍手を束ねる作業を行いました。

施設入所支援、生活介護支援



余暇活動室です。見学時は、制作活動をしていました。

洗面台にはバーが付いていて、片手でもタオルを絞れるようになっています。

感想 ・利用者の皆さんが暮らしやすいように設備に工夫がなされて、仕事をスピーディーかつ丁寧に行っている姿を見学でき、とても貴重な時間でした。(高等部保護者)

生活介護事業所 よつ葉

日課や年間の行事、送迎などについて丁寧に説明していただきました。保護者からは利用の手続きや送迎について、たくさんの質問が出ました。



余暇活動

創作活動の様子です。午後の時間帯に制作やマッサージ、スヌーズレン※などを行います。

※スヌーズレン：オランダで始まった余暇活動です。音や光、触覚などに働き掛け、心地よい刺激を受けたり、リラックスしたりする活動です。

入浴設備



午前中は入浴、水分補給を行います。必要に応じて医療処置もします。

感想 ・生活介護での活動の様子を見てみたかったので、とても参考になりました。一人一人に合わせた支援で、丁寧に関わってくれていることがよく分かりました。この先、子どもの進路を考えていく時に生かしていきたいです。(小学部保護者)
・一番近いのに今まで見たことがなかったので、初めて見学できて良かったです。とても人気があるようで、受け入れできるか分からない時もあるようなので、もっと受け入れ人数を増やしてほしいです。あと、ベッドや車椅子以外でも過ごせるスペースがあれば良いなあと思います。(中学部保護者)

★裏面には学部ごとの記事が連載されています★

小学部は「身辺の処理」について、中学部と高等部は「新設の事業所」についてです。他の学部の記事が見たい方には差し上げますので、学級担任までお知らせ下さい。ホームページ、学校の進路コーナーの掲示でも御覧いただけます。

12/8（金）「事業所関係者と語り合う会」について

この会は、保護者や本校職員が、福祉サービスを提供する事業所について理解を深め、児童生徒の福祉サービス利用や将来の進路選択に、早期から見通しをもてるようになりますことをねらいとしています。懇談時間は、3つに分けて設定、事業所関係者とゆっくり語り合えるようにしていますので、当日は、ふるってご参加くださるようお願いします。

〈主な日程〉

12:30 受付
12:50 開会の言葉、校長挨拶、日程説明等

13:05 懇談① アキタネット、あきた病院、秋田ワークセンター、ウェルビュ
ーいすみ、聖和、長岡ハウス、身体障害者更生訓練センター、
13:35 懇談② ほくと、ほのぼの・ほのぼの岩城、よつ葉・医療療育センター
14:05 懇談③ 計10事業所

14:35 閉会



【高等部コーナー】

新規事業所を紹介します～車椅子の方の受入をしています～

《ほのぼの岩城》

場 所；由利本荘市岩城内道川
事業内容；就労継続支援B型（定員20人）
相談支援（12月開始予定）
作業内容；米袋製作、軽印刷（名刺、はがき等）、フルーツキャップ、清掃



《長岡ハウス》

場 所；秋田市下新城長岡
事業内容；生活介護（定員30人）
*食事や排せつの介助、健康管理
活動内容；運動療法を取り入れたリハビリ
テーション、創作活動やゲーム、レクリエーション

